

# 馬場ひでゆきの活動日誌

## No.6

新潟県議会の決算委員会が終了しました。11月1日から11月9日までの連続審議（休日は除く）があり、令和4年度の新潟県の事業の執行について議論が交わされました。ここでは、私が質問した事項を中心に紹介いたします。

### 養育費確保支援事業の現状

新潟県は、令和3年度より養育費確保支援事業を始めています。この事業は、養育費の取り決めのために費用を負担したひとり親家庭の方を対象に、負担した費用の一部を補助するものです（内容は、弁護士費用や公正証書作成費用の合計額の2分の1（上限2万5千円））。

県の事業は、新潟県内の町村に居住している方々が対象ですが、県内の新潟市、長岡市など数市で既に同様の事業が始まっていますし、上越市でも、先般の市議会で、この事業に前向きに取り組む旨の答弁がありました。

決算委員会の質疑では、この事業の利用者がまだ少ないこと、裁判所、弁護士会、法テラスなどにチラシなどを設置し、周知を広げていく必要性が確認されました。

### 中山間地等直接支払い制度の課題

中山間地域等直接支払制度は、農業生産の不利な中山間地域で、農地の荒廃を防ぐために、集落

等との間で継続的に農用地を維持・管理していくための取決め（協定）を締結し、農業活動等を行う場合に、面積に応じて一定額を交付する制度です。

決算委の質疑では、令和4年度には協定締結件数が13件増加（全体の協定件数780件）し、対象農地も346ヘクタール（全体で22667ヘクタール）拡大したことが明らかにされました。

他方、この制度は5年間の耕作継続が条件であるため、協定参加者の高齢化や担い手不足により、協定の更新を断念する集落もあるとの課題も明らかになりました。この課題について、県は、「更なる継続が難しい地域等には、繋がりのある近隣集落との連携などにより、継続できるように働きかけしていく」と回答しました。

### 信用保証協会の代位弁済

令和4年度の新潟県信用保証協会の代位弁済の総額は46億9千万円、令和3年度（34億6千8百万円）に比して74%増になっています。

代位弁済は、債務者が借入金の返済が不能になった場合に、債務者に代わって債権者に返済をする制度で、保証協会の代位弁済の総額や件数の増加は、中小企業の業績悪化を予測させます。

本年7月からゼロゼロ融資の返済が本格化していますが、息切れする企業が今後増加するのでは

ないかと懸念されます。

県としても、県の制度融資の借換などの要請があれば、柔軟に対応していきたい、とのことでした。

### 新潟・上越鉄道高速化構想

先日、県は、上越新潟間のアクセス改善などを図る観点からの鉄道的高速化についての4案を発表しました。

これについて、私は、4案いずれも事業化されると1〜2千億円程度の事業費が発生すると報道されているが、何年先になるかわからない多額の公共工事を議論するよりも、私たちの明日の生活の課題を解決してほしい、地元は、北陸新幹線の開業に伴って、新潟までの快速や特急が減便され、往復割引符も4千円から6千500円になり困っている、と批判しました。

これについては、交通政策局も、足元のネットワークについても強化したいと回答しました。

上越地域にとって、交通政策は重要な課題です。引き続き、この問題は注視していきます。

発行：馬場ひでゆき事務所

住所：新潟県上越市本町3丁目3番3号

ダイヤパレス高田武番館2階

電話 025-546-7110

ファックス 025-546-7666



県議会棟脇の雑木林

11月の決算委員会は、6日間すべて日帰り高速バス通勤で通しました。6月県議会の時は新潟市内のホテルに宿泊しましたが、床が違うと眠れず散々な思いをしたため、日帰りすることにしました。そして、連日の車での上越と新潟との往復は、さすがに怖いので、高速バスを利用しました。バスは、WiFiが使えて仕事もできますし、疲れたら寝ることもできます。日帰りと言うと、みなさんびっくりされますが、6月議会のときよりも元気な状態で仕事することができました。

次は11月29日の県知事に対する総括質疑が予定されています。そして12月6日からは12月定例会が始まります。引き続き頑張ります！

